

迎バス運行による利便性を確保し、温泉と施設管理を充実してきました。
新年度も、村民が利用しやすい環境を心がけます。
義援金・見舞金
国・県義援金と村見舞金の収入を管理し、対象者の認定と、相違や未支給者の調査など、公正な支給業務を行います。

企業や事業者の支援
相馬市、伊達市、福島市、川俣町などの避難先で、18事業所が仮店舗や仮事業所で営業または事業を再開しています。

今年度は村内で操業を継続してきた2事業所に、村企業立地支援事業で工場の増設と設備導入支援を進めます。

仮設直売所運営
運営を支援し、合わせて村民が生産した農作物の販売など、避難先の農家の所得向上に寄与します。

甲狀腺検査事業
昨年8月から村独自で、検査をめぐりま脳神経外科病院に委託し、身近な場所です負担なしで検査ができる体制を整えました。

リスクコミュニケーション
住民の放射線に対する不安や疑問は、健康への影響だけでなく、除染や事業の再開、子どもはどのくらいの線量になれば戻ることができるかなど、多岐に渡ってきています。

子どもの心のケア事業
保護者や子どもを対象に訪問巡回相談員を配し、訪問巡回相談を行い、精神的な支援を行います。

東京電力原子力災害の損害賠償
国並びに東電に対して、課題の早期解決と早期の支払い開始を行うよう、要望を強化します。

村税
平成25年度も今年度同様の減免措置等が継続されるものと想定されます。

収納対策
平成25年度においては、財物賠償をはじめ農業・営業等の包括賠償により多額の収入が見込まれることから、この機会を捉え、納付推進を図りながら精神的に滞納解消に努めて参りたいと考えています。

村内の防犯対策
平成24年度に引き続き、緊急雇用創出事業を活用して「いいいたて全村見守り隊」約310人の村民による24時間3交代のパトロール体制を堅持します。

また、子どもと保護者に対し、精神科医や小児科医等による個別面談方式の相談会を実施し、健康への不安や精神的な不安の解消に努めます。

除染事業
国の本格除染の工程は、本年12月までに長泥行政区を除く全ての行政区の住宅等の建物、敷地とその周辺の森林及び農地全ての除染を完了させる計画です。

また、須賀地区の除染工事は、村振興公社が県から建設業の許可を得ましたので、作業体制の強化を図りながら除染を実施します。

除染の住民目線での監視、検証体制については、「村民見守り隊」や「飯館村までいな除染会議」を活用します。

また、除染完了箇所の放射線量モニタリング調査や食品放射能測定なども継続して実施しながら、村民に広報紙、情報端末機等を利用して情報の公表を図ります。

実施することになっています。
また、一部体制の見直しによる人員削減を行うなど経費削減を図るとともに、業務内容の再確認と資質向上に努め、村民の期待に応えられるパトロール活動を行って参りたいと考えています。

さらに、村内住宅の「警備保障業務委託（ホームセキュリティ）」による警備を継続し、関係機関と連携を密にしながら全村避難中の村内の盗難や犯罪の防止を図ります。

2つ目は「までいな子ども健康づくり」の積み立て事業です。子どもたちに年1回、必ず内部被ばく検査と甲狀腺検査を受けてもらうことを目的とし、検査を受けることにカードにスタンプを押し、小学校入学時、中学校入学時、中学校卒業時に、スタンプの数に応じた図書カードをお配りするというものです。

3つ目は「すこやかスマイル事業」です。「までいなチルドレンハウス（仮称）」を福島市内に開設し、飯館村の若いお父さんお母さんの子育て相談・いこいの場・お子さんの一時預かり・子どもの遊び場・健康教室などができるようにしていきたいと考えています。

内部被ばく検査事業
昨年8月からホルボディカウンタを村独自に購入し、管理運営をめぐりま脳神経外科病院に委託し、村民が、身近な場所です負担なしで検査が受けられる体制を整え

第3期中山間地域等直接支払制度
第3期対策事業として4年目となります。

また、保全管理のための草刈機の導入について、村中山間地域等直接支払推進協議会と連携して支援をします。

森林環境交付金事業
県の森林環境交付金を活用し、仮設小学校の内装木質化工事を実施し、木のぬくもりが感じられる学習環境の整備を図ります。

帰還再生生活道整備事業（昇口舗装事業）
砂利道等の生活道路を舗装することで、放射線の遮蔽効果を図り、生活道路利用者の安全性、利便性を向上させ、村民の帰村に向けた環境整備を実施します。

生活環境整備事業
区域見直しにより、避難指示解除準備区域に設定された4行政区の村道4路線の劣化防止策として舗装のオーバレイを実施します。

住宅関係
村外子育て拠点の「災害公営住宅飯野町団地整備」は、1月下旬に業者を指名し、2月上旬に設計競



▲子どもの体と心を元気に「遊びの教室」

▲復興交付金事業で設置したパイプハウス（福島市笹谷地内）